

山 行 報 告 書

山 名：甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根（山梨県北杜市）	
入山日：平成26年 5月 31日 日帰り	
参 加 者	L 報 記：花田
	男 名、女 名、計 名
記 録	尾白川溪谷 P(甲斐駒ヶ岳黒戸尾根登山口)3:45 笹の平分岐 5:25(休憩 5分)刃渡り 6:41 5号小屋跡地 7:35(休憩 5分)七丈小屋 8:40 甲斐駒ヶ岳山頂 10:40 下山開始 甲斐駒ヶ岳山頂 11:10 七丈小屋 12:20(休憩 5分) 5号小屋跡地 12:50 笹の平分岐 14:10(休憩 5分)尾白川溪谷 P15:15 標高差 2200m 歩行距離 18 [*] 。行動時間 11時間 30分(休憩 50分)
荒天候時のエスケープルート：	
装 備 と 食 糧	共同装備： 共同食：
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、スポーツ用救急セット 個人食：栄養ゼリー×6 食パン2枚 おせんべい1枚 水2ℓ
感 想 （ ）	南アルプスの一角、甲斐駒ヶ岳黒戸尾根は標高差 2200m 日本三大急登の尾根と言われ、地図のコースタイムは 15 時間弱、岩場、梯子とバリエーション豊かな尾根道のハードで有名な黒戸尾根。この長い行程を日帰りするには、精神的にやられる前に一気に登り一気に下りきる。天気は少しガスがかかってたが頂上に着くと南アルプス全域の大展望、下山の事を考えると早々に下りたいが、この景色を楽しまない理由が無い。この時期はまだ北沢峠からの道はバスが運行して無い為登山者は少なく山頂は独占、この南アルプス大展望の魅力に奇声の雄叫びを荒げ、気分が高揚してる中、今なら一気に下山が出来ると思い、足早に下りた。甲斐駒ヶ岳神社に無事に下山した事を参拝し、次は厳冬期に登頂し無事に下山出来ます様にとお願いし帰宅した。

【上記感想記録に書ききれない場合は、別紙NO2 がありますからそちらに記録して下さい】

